

NSPA JAPAN

The Natural Science Publishers' Association of Japan

自然科学書協会会報

発行人・本郷允彦
編集・広報委員会



[自然科学の時間-農業の意義]

野菜の魅力・野菜づくりの魅力

恵泉女学園大学人間社会学部 藤田 智

科学技術週間にサイエンスカフェを共催

出版システム研究委員会が
「ICタグの出版業への導入」研修会

2009 5/15 NO. 2

<http://www.nspa.or.jp/>

社団法人 自然科学書協会 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-101 神保町 101 ビル 1 階 TEL 03-5577-6301

[自然科学の時間 - 農業の意義]

野菜の魅力・野菜づくりの魅力

恵泉女学園大学人間社会学部

藤田 智



皆さんは「野菜の定義」について考えたことがありますか？ 世界には野菜は何種類くらいあるのでしょうか？ 普段何気なく食べている野菜ですが、人間とのつきあいは長く、大切な栄養源であるだけではない深い関わりがあるようです。

農業・園芸が地球にもたらしたもの

二二世紀のキーワードを「人口・食糧・環境」とするならば、私の専門分野である農業・園芸はこれらすべてに密接に関わっている。およそ一万年前、この地球に農業が誕生した時、この地球に二つの新しいことが起こった。一つは、定住生活である。それまでわれわれの祖先は、山野の果実や野草を採集し、動物や鳥を狩猟する移動生活を送っていたが、植物を栽培することで安定した食糧を得る方法を開発し、安

住の地を得ることに成功したのである。すなわち、家庭の誕生だ。現代に生きるわれわれが幸福な生活を送ることができるのも農業のおかげといえるだろう。一方、農業にはもう一つの側面があった。それは、「農業は人類が地球に対して初めて行った環境破壊である」という事実である。今日、人類の技術や文明の発達と同時に並行的に地球の環境が影響を受けてきたの言うまでもない。人間生活の基本である「衣食住」の食を担う農業・園芸も例外ではない。ここ半世紀余りの人口増に向けた食糧増産のために、栽培技術の改良のみならず、農薬や化学肥料の多投による水質汚染やメチルブロマイドによるオゾン層の破壊など問題も山積している。しかし、われわれは草花を育て、花を愛でたり、野菜を育て収穫を喜んだりする過程を通し、心が癒されるのも事実である。そこに、農業・園芸の今日的な意義を見出すことができよう。

市区町村が運営する市民農園や、農家が指導する農業体験農園など、家庭菜園の楽しみ方もバリエーションが広がっている



野菜づくりの魅力

ところで、ここ数年の間に野菜づくりがたいへんな人気となっている。また、小学校や中学校などの学校農園や花壇には野菜や草花が栽培され、子どもたちが野菜の収穫を楽しんだり、草花で校内を美しく彩ったりと、子どもたちの健やかな成長や美しい学習環境づくりに貢献している。人はなぜ野菜づくり、言い換えれば植物を栽培することにこれほど夢中になるのであろうか。それは、「野菜(植物)を栽培することが、人間の原点である」からであろう。思い起こしてみよう。はるか二万年前にわれわれの祖先が農業を始めたばかりの頃を。当時、食糧を得るということは実に大変な戦いであった。一度自分自身で野菜を栽培してみるとわかる。種をまいてから収穫までの間、常に害虫や病気との戦いの日々なのである。その苦勞を経験し、よ

うやく目の前に現れた収穫物を食するときには、本物の喜びを知るのである。例えばトマト栽培、真夏の炎天下での水やりや草取りなどの管理作業は、実にきつい作業で、額から玉のような汗が流れ出る。しかし、朝露に濡れた真っ赤なトマトを朝一番にがぶりと食べた瞬間、今までの苦勞が報われたような気がして、幸福感に包まれる。「人生の本物の喜びは、苦勞の向こう側にある」、そういうことも野菜づくりから学べるのだ。また、収穫した野菜を家族一緒に食卓を囲んで食べれば、家族の団欒、コミュニケーションも深まる。さらに、今日のように食の安全性が厳しく問われている時代に、自分で作った野菜こそ安心安全といえるのではないか。このように、野菜づくりにはいろんな魅力がある。

二つの農業・園芸

私は、一五年ほど前から社会人対象の市民農園講座を大学で開講しており、受講生数は延べで一〇〇〇人を超える。平均年齢は、開講当初四二・三歳であったが、現在では五七・二歳となっている。これは、いわゆる昭和二二年〜二四年生まれの団塊の世代が退職期を迎え、野菜づくりに関心を向けている傍証ともいえる。いわば、「定年帰農」時代が到来し、農業・園芸が定年後の「生きがい」、生活を豊かにするツールとしての役割を担っているのだ。初めて鋤を持ち、土を耕し、野菜づ

くりに取り組んだ熟年戦士の感想を紹介しよう。「今まで会社の仕事一筋だった自分が、こんなにも野菜づくりに夢中になれずとは夢にも思わなかった」、「自分が一生懸命に世話をした分だけ、野菜は収穫の喜びとなって応えてくれた」、「週末ごとに畑にこだまする笑い声や歓声、みんなの笑顔、ここには単なる野菜づくりだけでなくもっと大切なものがある」、「家内と初めて一緒に汗を流して野菜づくりに取り組んだら、夫婦仲が良くなった」などなど、指導する者にとって何物にも代えがたいことばであった。確かに、食糧を生産することが農業本来の使命であるが、一方で農業の有する現代的な意味づけ（心の癒し、心の教育福祉、コミュニケーション、街の景観づくりなどの多面的機能）も注目されているのだ。その意味で、農業は単なる食糧生産・環境破壊だけでなく、人間生活にとって深い意義があり、二つの農業・園芸が明確に意識されるのだ。

野菜の魅力

野菜は古くから、ビタミン類やミネラル、食物繊維の供給源として、人間の健康面でも重要な働きをしてきた。また、収穫した野菜を調理する食文化、さらに地域の生活文化へも大きな影響を与えてきた。そして、今や食糧としてだけでなく、心の健康として野菜づくりが人気を呼んでいる。それでは、ここで野菜自体の持つ魅

力について述べておこう。

日本や世界にはどれくらいの種類野菜があるのだろうか。日本の主な野菜は、およそ一〇〇種類、キノコや山菜などを含めると一五〇種類くらいになる。一方、世界には約八〇〇種類の野菜があり、われわれ日本人の知らない野菜が実に多いことがわかる。今でこそ、トマトやキュウリ、ナス、ピーマン、タマネギ、ジャガイモなどの種類が、食卓の主流として活躍しているが、実はこれらはすべてかつて海外から日本に渡来したもののばかりだ。それでは、日本原産の野菜にはどんなものがあるのだろうか。主なものを列挙してみよう。ワサビ、フキ、ウド、セリ、ミツバ、・・・などわずか二〇数種類なのだ。しかも、現在主に利用されている野菜というより、明らかにマイナーなものが多い。今日、われわれ日本人が食べている野菜の多くは、古く海外から日本に導入され、そして日本の生活文化に合うように改良が加えられ、発達してきたものなのだ。

そもそも野菜とは何か、その定義は次の通りである。「野菜とは、主に副食として利用する草本性食用植物の総称である」。つまり、イネやコムギ、トウモロコシなどの主食と異なっているのは、カロリーで、主食となるためには、エネルギーとなる炭水化物を多く含む必要がある。その意味で、野菜は低カロリーであり、食物繊維も豊富なので、健康志向の現在、注目されているのである。

植物としての野菜

野菜も植物だから、葉、茎、根がある。食用にする部分も種類によって異なり、キュウリ、ナス、トマトなどは実（果実）、キャベツ、ハクサイ、ホウレンソウ、レタスなどは葉、ダイコン、ニンジン、カブなどは根を利用する。変わり種もあり、ブロッコリー、カリフラワー、ミョウガは開花前の花蕾を、アスパラガス、タケノコは若い茎を利用する。このように、野菜は植物のあらゆる部分を多彩に利用している。

ところで、イチゴ、スイカ、メロンは野菜か果物か？日本人の多くは、「果物だ」というだろう。しかし、日本の園芸界では、これらはすべて「野菜」に分類されている。前述の通り、野菜は「主に副食として利用される草本性食用植物の総称」と定義されている。その意味で、イチゴは「野菜」になる。ところが、日本は不思議な国で、野菜と思っているのは「栽培している農家や農業・園芸関係者のみ」で、いったん収穫され、流通サイドに回ると（店頭に並ぶ頃には）、「野菜」から「果物」にいつの間にか変わってしまうのだ。参考までに、欧米では、果物として扱われている（国によって分類基準が違うのだ）。

一方、大豆も面白い植物で、種子の段階では作物（穀物）に分類されているが、芽が出て一週間すると「もやし」、発芽して八〇日経過した若い子実は「エダマメ」とい、同じ種類なのに生育段階の違いで野菜

になつてしまふ。不思議なことだ。

野菜をつくる

野菜についてほんの少しだけ紹介させていただいたが、野菜の魅力の一端を感じていただけたと思う。この魅力あふれる野菜についてもっと学びたいという方は、どうかご自分の手で野菜づくりに取り組んでいただきたい。プランターでも、庭の一角でも、市民農園でもどこでもできる。そして、実際に土に触れ、収穫のときを迎えたときにきつとあなたは気づくのだ。「人間が自然の中で暮らし、自然と共生していること」、「他の生命を犠牲にして生きている人間の姿」を。そして、夫婦そろつて畑に出るとともに汗を流した時に、あなたはもつと大切なことを再発見するはずだ。「これまでずつとあなたに寄り添つて、あなたを支えてきた妻のいつもの笑顔の素晴らしさ、いとおしさ」を。

■藤田智(ふじた・さとし)

恵泉女学園大学人間社会学部准教授。一九五九年秋田県生まれ。岩手大学大学院修了。大学では生活園芸および野菜園芸学を担当。全国各地の市民農園講座でも野菜づくりの指導を行っている。また家庭菜園の楽しさを知ってもらいたいと、NHKテレビ「やさしい時間」などでも活躍する。主な著書・監修本は『ベランダ畑』『一坪家庭菜園』『これで失敗しない家庭菜園Q&A』(以上、家の光協会)、『旨い! 楽しい! 納得! 野菜づくり』(日本放送出版協会)、『野菜づくり大図鑑』(講談社)など多数。

科学技術週間に サイエンスカフェを共催

文部科学省主催の「第五〇回科学技術週間」(四月二三日(月)〜一九日(日))の一環として、東京・神田神保町を中心に開催されたサイエンスカフェに当協会が共催し、医学・工学・理学・農学・家政の分野で講師を派遣した。その講演要旨は、以下のとおり。

・
・
・

四月二三日(月)一八時三〇分

・新しい超伝導の夢を追つて―二世紀のテクノロジ―超伝導

・講師…秋光 純(青山学院大学理工学部教授)

・ファシリテーター…近藤妙子(培風館)

超伝導は、電気抵抗0など大変不思議な性質を示し、超高速コンピュータ等多くの応用も考えられています。まさに二一世紀は「超伝導の世紀」といっても過言ではないでしょう。ただ超伝導になる温度(Tc)はまだまだ低く、多くの人達が何とかより高いTcを持つ物質を探そうと努力しています。そのような「夢見る人」の一人として、研究者の格闘する日々を披露した。

四月二四日(火)一八時三〇分

・食事摂取基準を背景にした個人対応の食事学―ヒトは何をどれだけ食べればよいか!

・講師…池本真二(お茶の水女子大学大学院)

・ファシリテーター…稲山貴代(首都大学東京)

ヒトは、何をどれだけ、どのように食べればよいのでしょうか? この基準となる科学的根拠が食事摂取基準であるが、遺伝要因も生活習慣要因も異なり、さらに人生観、価値観も異なる個人の食事をどのようにに捉えるべきなのかを科学したい。食の本質を栄養という捉え方と食事とい

う捉え方を起点に、健康長寿を目指す個人代謝プロファイルの考え方を紹介した。

四月二七日(金)一五時三〇分
・破壊事故は何故起こるか
・講師…小林英男(横浜国立大学)

物(道具、機械、設備)が壊れると、物が役に立たなくなるだけでなく、周囲に災害をもたらし、人命の損失にもつながる。これが破壊事故である。人は道具を手にして以来、歴史的に多くの破壊事故を繰り返してきた。破壊事故は何故起こるか。そのメカニズムを物のつくり方と使い方の工夫で長持ちする物のつくり方と使い方の指針を示した。

サイエンスカフェ風景



四月一八日(土) 一六時二五〇

・このころの不調を防ごう!

・講師…松本桂樹(ジャパンEAPシステムズ)

・ファシリテータ…脊尾大雅(ジャパンEAPシステムズ)

誰もが日々の生活の中でストレスは感じるものです。多くの場合は何となく解消されるのですが、時にはなかなかストレスが解消されず、体だけでなく、ここにも不調を来してしまうことがある。

そこで、不調にならないようにどのような対処をしたら良いのかを講師の体験談を交えて話した。

四月一八日(土) 一八時三〇分

・日本の果物、今までとこれから

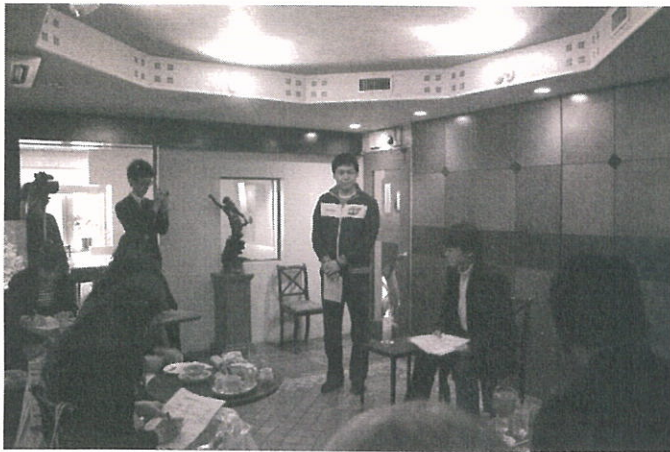
・講師…梶浦一郎(農業・食品産業技術総合研究機構)

・ファシリテータ…伊東映仁(農業・食品産業技術総合研究機構)

一米軍が持ち込んだジュース文化、ワインは何故、線香花火で終わるのか

二梨と蜜柑は甘くて美味しく、腐敗していない安全な「水」の供給源、保存方法

三日本に野生していた果樹はハスカップ、グミ、アケビ、ムベ、ヤマブドウ、ヤマモモ、野生ナシ「イワテヤマナシ」についての話があった。



サイエンスカフェ風景



出版システム研究委員会が「ICタグの出版業への導入」研修会開催

ICタグ(RFIDタグ)の出版業への導入について、日本出版インフラセンター(JPO)が経済産業省の助成事業として長年にわたり調査をしているが、出版社の理解が不足しているというのではないかという意見もあった。そこで、当協会出版システム研究委員会では、出版業界のICタグ導入についても実践で指導に当たっている(株)日立製作所トレーサビリティ・RFID事業部の中島洋副事業部長を招き、「ICタグ/RFIDの出版業界での導入の動き」研修会を三月五日(木)、日本出版クラブ会館で開催した。万引き防止や流通管理・在庫管理からも効果が期待されるためか、委員以外の参加もあり予想を超える五〇名の参加があった。

研修講演では、ICタグ(RFIDタグ)の動作原理や機能などの技術的な解説の後、運用に当たった際の費用の問題、スーパーや小売業界、家電業界や自動車業界などでの導入事例、導入に当たった際の体制整備の方法、導入によりどんな効果があるかが紹介された。また、ICタグ(RFID)の低価格化(二つ五円以下に)、安定供給国際標準化、セキュリティ問題などに取り組んでいる響プロジェクトの動向、小学館や丸善の取り組みなど出版業界における動きが紹介された。さらに、出版社にとつ

ては、在庫管理・流通管理・返品管理の問題が解決できるし、取引条件の識別などができるなど、多くのメリットが生まれると講演した。

現在一つ約四〇〇円しているICタグ(RFIDタグ)、数千個オーダーになれば一つ一〇円台で導入できるそうだ。なおJPOで検索すれば、出版業界のICタグ(RFID)の情報が得られる。

「専門委員会報告」

●総務委員会

今期総務委員会は、

- 一 和文会員名簿の発行
 - 二 協会事務局専用電子メールの開設
 - 三 ホームページによる広報活動の実施(第五〇回科学技術週間サイエンスカフェ、自然科 学書協会講演会二〇〇九、引用転載ガイドライン二〇〇八等)を行いました。
- また、組織面においては、

- 一 副委員長二名体制の実現
- 二 ホームページ・ワーキンググループの設置

を行いました。副委員長を二名体制とする目的は、従来からの総務委員会業務と、新たに加わったホームページのメンテナンスを円滑に処理するためであり、特に、ホームページ等の運営に関

しては新たにワーキンググループを設置し実務面でのフォロー体制を構築しました。なお、同ワーキンググループには三名が在籍し鋭意活動しております。また、ホームページ・ワーキンググループでは、専門委員会の情報伝達向上を目的とした「専門委員会専用電子掲示板(『BBS』)の運用実験を行っております。これは専門委員会ごとにID、パスワードを設定した専用電子掲示板を設置し、メーリングリストやダイレクトメール等で行っていた連絡をBBSで代替する試みです。BBSはメーリングリストやメールのCC機能を使った同報配信に比べ、ユーザー或いは管理者によるアドレスの追加登録・削除といったメンテナンスが不要であることと、過去ログの閲覧が可能なこと、経過の確認や情報継承などの面でもメリットがあります。何れにせよ運用実験を通じて、協会活動に有効か否かを見極めたいと思います。今期も残り少なくなりましたが、予算総会に向け準備を進めておりますことを申し添え、総務委員会のご報告とさせていただきます。

(委員長 飯塚尚彦)

●販売・出展委員会

「自然科学書フェアと講演会」の試み
当協会の新しい事業として、「自然科学書フェアと講演会」を仙台と京都でそれぞれ

れ開催いたします(概略は以表を参照)。なお、両講演会とも文部科学省の後援を得ることができました。またメディアとしては、河北新報社(仙台)と京都新聞社(京都)の後援も得ました。

■仙台・京都で開催する「自然科学書フェアと講演会」の概略

場所	フェアの期間	フェアの会場	講演会の日時	講演会の場所	備考
仙台	5月10日～6月28日	丸善仙台アエル店 (アエル1階)	6月17日(水) 13時30分～16時30分	せんだいメディアテーク 7階スタジオシアター	1)
京都	5月7日～7月4日	ジュンク堂書店 京都BAL店	6月18日(木) 13時30分～16時30分	コープイン京都 2階大会議室	2)

- 1) 講演: 青木淳一(環境変化とダニ) / 藤正巖(人口減少を迎える世界と医療科学技術)
2) 講演: 井村裕夫(ここまで来た先端医療と日本の課題) / 中村桂子(生きものはつなかりの中に)

両都市で開催の自然科学書フェアへの積極的な出品など、ご協力をよろしくお願いたします。また、講演会への聴講者参加の受付を自然科学書協会事務局で行っております。会員社の皆様からの広告・宣伝をよろしくお願いたします。

第一六回東京国際ブックフェア(七月九日～二日)への出品についてもよろしくお願いたします。今回は各社の事典・辞典類を集める企画をいたしました。新刊に加えてこちらの方もよろしくお願いたします。なお、今年の新しい試みとして、関東近郊の大学図書館関係者にも出品総書目リストを届けTIBFへの来場を勧誘する予定です。

(委員長 平田 直)

●著作・出版権委員会

かねてより懸案だった転載許諾のガイドラインは、昨年二月二十六日の説明会を経て、若干の字句訂正をした上で、「転載許諾ガイドライン2008」として二四日の理事会で最終的に承認されました。すでに協会のホームページにアップされていますので、ぜひ一度ご覧ください。拘束力はありませんが、今後私たちが参照すべき準拠枠として活用していただければ幸いです。

このところゲージ社との和解問題で多くの会員社の皆様もかなり振り回されたのではないかと思います。この問題について

は、当委員会には出る幕がありませんでした。しかし、これからのブック検索や電子書籍のネット上での展開を考えますと、今回の和解が私たちに投げかけた問題はきわめて大きくて深刻な問題をはらんでいるように思われます。当協会の著作・出版権委員会も、ネット時代での出版活動についていっそう大きな関心を寄せていく必要があります。

(委員長 宮部信明)

●国際委員会

「ソウル国際ブックフェア」は五月三日(水)～七日(日)の会期で開催され、今年「日本年」として実行されます。

出品料の半額は当協会が負担します。自然科学書ブースへの出品数は三三八点と目標の三〇〇点を上回ることができました。会員各社の皆様のご協力を感謝します。

「フランクフルト・ブックフェア」は一〇月一四日(水)～一八日(日)の会期で開催されます。今年も出版文化国際交流協会の共同ブースでの出品となります。出品料は当協会が全額負担です。新刊(和文・欧文問わず。事・辞典歓迎)を一社二点まで出展いただけます。なお、昨年に出展いただきました図書は、本年も再展示となります。会員各社の皆様のご協力、ありがとうございました。

(委員長 藤実彰二)

【第五八期理事会・委員会開催一覧】
(二〇〇九年一月～四月)

●理事会

- ・一月五日(木) / 一〇～一二時 日本出版クラブ会館
- ・二月九日(木) / 一五～一七時 日本出版クラブ会館
- ・三月九日(木) / 一五～一七時 日本出版クラブ会館
- ・四月二七日(金) / 一六～一七時三〇分 醍醐

●専門委員会

- ・一月二八日(水) 販売・出展委員会ブックフェア委員会 / 二時～四時 日本出版クラブ会館
- ・一月二九日(木) 販売・出展委員会 一六時三〇分～一七時三〇分 日本出版クラブ会館

- ・二月九日(月) 会費問題検討委員会 / 一六時～一七時 日本出版クラブ会館
- ・二月一八日(水) 広報委員会 / 一七時～一八時 日本出版クラブ会館
- ・二月二三日(月) 販売・出展委員会幹事会 / 一時～三時 日本出版クラブ会館
- ・二月二三日(月) 販売・出展委員会ブックフェア委員会 / 一三時～一五時 日本出版クラブ会館
- ・三月五日(木) 出版システム研究委員会 (ICタグ研修会) / 一五～一七時 日本出版クラブ会館
- ・三月六日(金) 販売・出展委員会 / 一六時～一八時 日本出版クラブ会館
- ・三月二二日(木) 販売・出展委員会東京国際ブックフェア打ち合わせ / 一六時～一七時

自然科学書協会事務所

- ・三月二三日(金) 選挙管理委員会 / 一五時～一六時 学士会館
- ・三月二三日(金) 総務委員会 / 一六時三〇分～一七時三〇分 自然科学書協会事務所
- ・四月九日(木) 常務理事会 / 一五時～一七時 日本出版クラブ会館

【その他】

- ・一月二五日(木) 新年会員集会 / 一二～一四時 日本出版クラブ会館

【事務局だより】

- ・四月二三日～一九日 第五〇回科学技術週間サイエンスカフェ(文部科学省主催・自然科学書協会共催)
- ・四月一四日 平成二二年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞(理解増進部門)表彰式
朝倉書店高原富夫氏、医学書院坂本稔氏
の二名受賞

〈当会代表者の変更〉

- ・株式会社 オーム社
旧代表者…佐藤政次
新代表者…竹生修己

〈専門委員会委員の変更〉

- ・販売・出展委員会
株式会社誠文堂新光社
旧委員…洞澤健吾 新委員…御園英伸
- ・広報委員会
株式会社朝倉書店
旧委員…朝倉誠造 新委員…瀧原恒平



新年会員集会風景



第五七期/第五八期広報委員

〈担当常務理事〉 山本 格(培風館)

〈委員長〉 曾根良介(化学同人)

〈副委員長〉 新谷滋記(工業調査会)

森田 猛(緑書房)

〈委員〉 瀧原恒平(朝倉書店)

高杉 昇(家の光協会)

長 滋彦(技報堂出版)

牛来真也(コロナ社)

三宅恒太郎(彰国社)

田中久米四郎(電気書院)

遠矢良太郎(南江堂)

編集後記

月に二、三回土日に妻が孫を連れてくる。倅夫婦もたまにはのんびりさせてやりたいとかいつているが、多分に自分が孫と遊びたいからである。

倅は「甘やかさないでくれ、あまり物を買わないでくれ」と釘を刺すが、とつくの昔に子育てなど忘れており、その上、孫に嫌われたくない私達に可愛い盛りの孫を預けて、甘やかさず躰てくれというのはどだい無理な相談である。孫が来ると、とりあえず孫の好きなものを食べに行くか買いに連れて行き、帰りに玩具売り場というパターンが出来上がっている。買った玩具やDVDを持って帰らせるわけにはいかず、いつの間にか家の居間には孫の玩具箱が増殖している。また家具や柱の角にはクッションを置き、口に入りそうな小物は撤去し、タバコなど置いておけば即ゴミ箱へという状態である。

倅よ許せ、帰るたびにかなり我儘になっていると思うが・・・まあいいか・・・。